

No.	発言のポイント	要旨
1	文化芸術に関するハードルを低くする施策を	歴史・文化・芸術・スポーツに関して、例えば東京からシンフォニーホールコンサートに来る人もいる。そうした岡山のアクセスの有利さが生かされていないのではないか。また、市民が文化や芸術に気軽に触れられるよう、ハードルを低くする施策が必要だ。それには市民の側も一歩踏み出すような積極性が求められる。
2	歴史・文化資源を生かしたPRでブランド力向上を	岡山のブランド力が全国で41位から27位に大きく改善された。しかし、後樂園、岡山城、吉備津神社など、多くの歴史・文化資源があることを考えると、やはりまだPRが不足しているのではないか。もっとPRをすることが必要だ。また、岡山の自然や歴史に興味を持つ子どもを育てていくための教育が必要だ。
3	認知度と愛着度のより向上を	岡山の認知度と愛着度が前回に比べて随分アップしていることがうれしい。この次はもっとアップできるようにしていただきたい。そうすることで岡山のブランド力をPRすることにつながる。
4	文化財・文化施設の一括管理と情報発信	岡山市の文化財が発信できていないことも、県と市で管理がバラバラなことが一因だと考える。文化財・文化施設も一括して管理し、情報発信を行う。特に学校教育が文化施設の活用を図ることが必要ではないか。
5	シティミュージアムの有効活用を	シティミュージアムは岡山駅前の好立地にありながら、岡山の文化コンテンツの発信が少なく、他所からの持ち込み企画が多い。もっと岡山の先人や文化財、地理などを発信していくべきではないか。豊富な文化財を活用したワークショップなどを実施し、新しい芸術文化の創造につなげる活動も必要だ。
6	岡山をトータルで体験できる場所を	歴史・文化・芸術的な点で、トータルとしての岡山というイメージが見えないのが一番の問題ではないか。非常に古い歴史があり、文化財も多いが、それをトータルで体験できる場所がない。それぞれの場所に行かないと体験できないのが一番の欠点だ。歴史博物館のような箱ものをつくるのが解決策かどうかは議論のあるところだ。
7	総合的な演出によるアピールを	岡山市の歴史・文化を総合的に演出してアピールしてはどうか。後樂園、岡山城、現代アート等々、それぞれが独立してアピールされていて、トータル性が見られない。総合的なアピールをぜひやっていただきたい。
8	周辺市町との連携したPRを	岡山市だけでなく、総社市・周辺地と連携したPRを行うことが必要だ。吉備の国ということで歴史があり、高松城や古墳など資源も多い。
9	郷土の先人の理解を	郷土の先人の業績に理解を深めることが必要だ。先人の生き方を学びつつ、道徳などの教育にも生かせるのではないか。
10	郷土愛を育み誇りを持つ	故郷愛、郷土愛をどう育てていくか。これは大きなテーマだ。岡山市は政令市の中で、国の史跡が京都市に次いで2番目に多く、18カ所もある。このことを市民のどれだけの人が認知しているのか。歴史遺産は全国あるいは海外に誇れるものがたくさんある。市民が改めてその価値を再認識して誇りを持つべきだ。
11	子どもたちが文化・歴史遺産に触れる機会を	子どもたちが身近な文化施設・歴史遺産に触れる機会をつくっていくことが重要だ。同時に海外も含めて、その価値を分かりやすく発信していく。そのあたりの取り組みをぜひ進めていただきたい。

No.	発言のポイント	要旨
12	スポーツを支える機運を盛り上げ、地域の一体感の醸成と健康増進を	岡山国体が2005年に開催されて以降、天皇杯、総合の順位はずっと10位以内をキープしている。岡山県の人口規模を考えると大健闘といえる。5年後の東京五輪には、少し大きな目標かもしれないが、岡山県から代表選手を30人出そうということで、取り組みを進めている。さまざまなスポーツを支える機運を官民でさらに盛り上げていく。それが地域の一体化、ひいては市民の健康増進につながるのではないかと。
13	生涯にわたって学べる環境と活躍できる仕組みを	歴史・文化・芸術・スポーツを生涯にわたって学べる環境づくりが重要だ。公民館や生涯学習センターなど学べる場所はかなりあるので、連携講座を増やして、学んだ人が各地域で活躍できる仕組みがつくれたらいい。
14	幅広い層が運動できるような施策を	ヨガや健康体操などにもっと参加できる取り組みがあればいい。健康寿命や道徳教育の点で武道の取り組みも考えられる。釣りやまち歩きなども一緒に含めて、幅広い層の人が運動できるような施策が必要だ。
15	地元チームという意識の形成を	ファジアーノ、ベル、シーガルズ、これらが岡山の「Our team」というか、市民が一体になれる雰囲気醸成するにはどうしたらいいか。試合を見に行くとか、同じスポーツをやってみるとか、方法はいろいろあると思うが、私たちのチーム、岡山県・岡山市のチームという意識をつくるにはどうしたらいいかを考えることが必要だ。
16	スポーツ施設の複合的な管理運営を行う組織を	最近では多くのスポーツ大会が岡山でも増えている。ただ、市と県の施設管理がバラバラで、総合的な管理ができていない。施設が足りているのか、足りないのかも見えていないのが現状ではないか。一連の施設管理をしながら、適正配置や大会の開催、施設の稼働向上など、複合的な管理運営を手がける組織が必要なのではないか。
17	気軽に運動に参加できる交通体系を	健康寿命の延伸の面からも、高齢者がスポーツで筋力アップを図ることは非常に重要だ。加えて社会参加や交流も大切だと言われていることを考えると、戸外で運動ができる仕組みが必要だ。朝、岡山城周辺でラジオ体操や太極拳をしている人たちがいる。早朝に送迎してくれる交通体系があるといい。
18	連携による文化施設の総合的な運用を	文化施設は県と市の所有、民間のギャラリーを含めた連携ができていない。それができるともっと魅力的に映る。また、スポーツ施設も全市的な運用や活用を、もっと総合的に考えられればいい。